

特別支援学校初任者研修（第10回）を実施しました。

令和2年10月13日、20日（火）に「特別支援学校初任者研修（第10回）」を実施しました。全体を2班に分け、A班は13日、B班は20日に行いました。



午前中は、実習（発表）「授業におけるICT活用」を中心に行いました。受講者全員が各校でのICT機器の活用について発表を行いました。画像にアニメーションや音を付けるなど、子どもたちが授業に興味をもつための工夫について学び合うことができました。模擬授業形式の発表もあり、活気に溢

れていました。

午後の前半は講義Ⅰ「課題研究の進め方」、

講義Ⅱ「心理検査の活用」を受講しました。

その後、研究協議「自立活動の意義と実際」を行いました。障害種別に分かれ、自立活動を進める上での悩みを共有したり、その解決方法を探るなど、講師の助言をいただきながら、活発な意見交換ができました。



【受講者の声】

「授業におけるICT活用」

- パワーポイントソフトを授業で用いるに当たって、生徒の集中力を考慮した取り入れ方をしていた点が印象的だった。
- 教師の言葉かけとスライドをリンクさせることで、記憶に残りやすくなること、分かりやすくなることを実感した。

「心理検査の活用」

- 検査をして全てが分かるのではなく、その子の傾向をつかみ、支援の一つとして活用するものであると感じた。
- 「障害の理解」よりも、どのような支援が必要なのかという「特性の理解」が大切という内容が印象に残った。

「自立活動の意義と実際」

- 「自立活動はオーダーメイド」という言葉が印象に残っている。一人一人の課題に合わせてねらいを設定することが大切だと感じた。
- 自立活動について各学校での授業の様子や、抱えている悩みの共有をすることができた。自立活動に答えは存在しないことから、生徒の実態に合ったアプローチ方法について改めて考え、過去・現在の成長過程も踏まえて計画を立てたいと感じた。